

フォニックス学習法を基にした英語の指導

英語は、大方の日本語のかな（ひらがなやカタカナ）と異なり、音韻と文字が一对一対応ではないものが多く、また、アルファベット文字も文字の名称とは異なる読み方になります。この音はローマ字読みとはまた異なります。

まず、英語を読むときには、フォニックス学習法というものがあります。これは「子どもにどうにかして英語の読み書きを教えたいという願いから生まれた民間療法」であり「学問的正確さ、綿密さが目的ではなく、あくまでも子どもにわかりやすく、楽しく、しかもそれを必要としている子どもに役に立つように考案されたもの」（松香、1981）です。

このフォニックス学習法に加えて、子どもさんの認知的な特徴を踏まえた英単語の学習指導を行いたいと思います。

募 集：英語の苦手な小中学生

（特に単語の綴りがなかなか読めない書けないお子さん） 若干名

指導法：基本的にはフォニックス学習法で英語の綴りを学習していきます。主に、2つの指導方法（A:口型から発音の仕方と読み書きを学ぶ方法とB:単語の絵カードを使い英単語から発音の仕方と読み書きを学ぶ指導）を行います。

相談手順：① インテーク面接（保護者のみでも可能）

② 検査面接（ご本人に対して）

③ 英語指導

指導期間：1日1回1時間程度 週1回または、夏季集中 全18回

（日程や期間については、相談して決めたいと思います）

プレテスト1日目

AまたはBの英語の指導7日間

ポストテスト9日目

プレテスト10日目

BまたはAの英語の指導7日間

ポストテスト18日目

指導：森本英生（学類4年生）、（工藤早希（修士2年生））

熊谷恵子（指導責任者）